

輝く三芳のアスリート 新春対談 2020

町制施行 50 周年、そしてオリンピック・パラリンピックが行われる 2020 年の幕が開けます。昨年の町民の日式典で、スポーツ活動功勞により表彰された次世代を担う三芳のアスリートと町長の対談が実現。三芳町がめざす、誰もが「幸福」に生きていけるまちづくりへ、障がいのある人の立場で共生社会について対談しました。



【写真】2020年の抱負を発表する3人。それぞれが思う新年への強い決意が記されました。

町長：新年あけましておめでとうございます。早速ですが、お二人の三芳町の印象をお聞かせください。

酒井：引越してきて1年になりますが、自然が豊かで過ごしやすく、生まれた静岡にも似ていて安心感があります。

大橋：私も同じで、三芳町は自然が多く落ち着ける場所です。あと、優しい人が多いですね。

町長：酒井さんはサッカーとフットサル、大橋さんは水泳を始めました。酒井さん、サッカーを始めたきっかけは何だったんですか？

酒井：妹がサッカーをしていたのがきっかけで、小学2年の時に始めました。

大橋：何か一つ特技を持ってほしいという親の想いと、小学校でプールの授業をみんなと一緒に受けて、そこで楽しみを覚え、水泳を始めました。

町長：どんな魅力がありますか？

酒井：チームのみんなで一つの目的に向かって練習や相談を重ね、共に歩いていくことが楽しいです。

大橋：大会に出場するにつれて交流が増え、スポーツを通して多くの仲間ができていくことが嬉しいです。

「共に支え合うまちづくりに貢献したい。」
 「様々な障がいを知って欲しい。」

共に生きていくために

町長：三芳町は、分け隔てなく、誰もが幸福に生きていける共生社会の実現をめざしています。お二人の立場から、暮らしている気になることはありませんか？

酒井：もっと手話が普及してほしいです。耳が聞こえないことは、見た目では判断できません。手話を使えば、障がいがあると気づいてもらえるし、理解が深まります。

大橋：自宅から車いすです。駅まで行き、電車で大学まで通っています。道などの段差がもつと無くなしてほしいです。他の車いすを利用する人も安心して生活できると思います。

2020年を迎えて

町長：今年はいよいよ東京オリ

ンピック・パラリンピックが開催されます。7月7日には、オリンピック聖火が三芳町を通りますね。

酒井：実は聖火ランナーにエントリーしているんです。まだ結果が出ていないので、ドキドキしています。



大橋：身近な所で大イベントがあるのは嬉しいですね。いずれは選手として出場したいという想いはあります。

町長：2020年は町制施行50周年の節目の年であり、未来の三芳町をつくるスタートの年にしたいと思っています。お二人の夢と今年の抱負を聞かせてください。

酒井：オリンピック、パラリンピックの他に、デフリンピック（聴覚障がい者のオリンピック）があることを知ってもらいたいです。パラリンピックにろう者出場できません。

そして、「耳が聞こえない」とはどういうことか、不便や恐怖心を感じながら生きていることなど、関わりを通して様々な

障がいを知ってもらいたいです。自分だけでなく、みんなのために出来ることをする……。それが共生社会の実現に結び付くと嬉しいです。

大橋：私の夢は将来福祉の仕事に就くこと。今、大学で勉強中です。チューデント・サポーターにも登録し、不登校の子の支援活動も始めました。私は今年20歳になります。立派な成人になつて、いじめも不登校も無い、共に助け合って支え合うまちづくりに貢献していきたいです。

そして水泳では、鹿児島で行われる全国大会に出場して、優勝したいです。

町長：ありがとうございます。お二人の今後の活躍を期待しています。

※対談後、酒井藍莉さんがオリンピック聖火ランナーに選出されました。

感謝の気持ちを持って、助け合う町に。

2000年生まれ。三芳町出身。竹間沢小・三芳東中を卒業後、和光特別支援学校を経て、現在、東京国際大学1年。背骨の一部の形成不全に起因する二分脊椎症により、両下肢に障がいがある。一昨年、第18回全国障害者スポーツ大会に出場し、25m自由形で優勝、50m自由形で2位という好成績を残す。昨年も彩の国ふれあいピック春季大会で選考基準タイムを上回り、2年連続で全国大会への出場切符を手にした。

全国障害者スポーツ大会 25m・50m 自由形 埼玉県代表 大橋 弦樹 さん (19)



第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」の50m自由形で、力泳する大橋さん。



昨年11月にスイスで行われたデフフットサルワールドカップに、日の丸を背負って出場した酒井さん。

デフリンピックをもっと広めたい。

1998年生まれ。静岡県静岡市出身。平成30年に三芳町へ転入。日本女子フットサルリーグ「さいたま SAICOLO」所属。昨年2月のデフフットサルアジア大会で優勝し、得点王に輝く。同年11月にスイスで行われたデフフットサルW杯では、予選リーグ全試合で得点。準々決勝で優勝したブラジルに1-2で惜敗するが、日本代表チーム内では得点王に。今年韓国で開催されるデフサッカーW杯に向けて、日々練習を重ねている。

デフフットサルW杯・デフサッカー 日本代表 酒井 藍莉 さん (21)



デフ(deaf) 聴覚に障がいがある人。